

日本遺産学習(石見神楽)

迫力満点の石見神楽！鑑賞すると、満足すること間違いなし！！



活動のねらい

- ・大田地域の神楽鑑賞を通して石見神楽に親しむ。
- ・郷土の伝統・文化について理解し、大切にしていこうとする気持ちを育む。

教科との関わり

○ 第4学年・社会科「きょう土の伝統・文化と先人たち」

一斉実施可能人数	15～200人	活動季節・条件	通年
所要時間	1時間	実施場所	国立三瓶青少年交流の家 講堂
主な対象	幼児～		
指導について	無し		

活動の概略

石見神楽(いわみかぐら)は、島根県西部(石見地方)などで古くから伝統芸能として受け継がれている神楽の様式のひとつで、島根県大田市のある石見地方を代表する郷土芸能です。その年の豊作・豊漁、無病息災を祈願し、神々に捧げる儀式として古くから舞われてきました。大田市は、出雲地方と石見地方の境界に位置しており、神楽団によって舞や調子など神楽の趣が異なります。交流の家では、講堂で上演を行います。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

無し

利用者または団体が準備する用具・材料

・水筒

料金

石見神楽出張上演制度を利用することにより、特別価格で鑑賞することができます。
詳しくは、島根県大田市観光サイトをご覧ください。<https://www.ginzan-wm.jp/>

当日までの流れ

- ①交流の家職員からの連絡 当所職員が神楽上演が可能かどうかを大田市観光協会の担当者と確認し、可能であれば、団体担当者に連絡します。
- ②確認表の送付 確認表をHPからダウンロードしていただき、当所までメール(sanbe-suishin@niye.go.jp)または、FAX(0854-86-0458)にてお送りください。

※ 入所後の打合せはありません。

研修の流れ

- ①事前学習 事前に単元の関連部分を学習しておくこと、より見学の効果が高まります。
- ②神楽鑑賞 神楽を鑑賞します。
- ③振り返り 感想や新たに生じた疑問等を簡単にまとめておくことよいでしょう。

安全対策・環境への留意点

- ・熱中症対策のため、水分は必ず持参しましょう。

備考

- ・石見神楽出張上演制度を利用するときは、報告書作成のため職員が上演の様子を写真撮影する。